

加藤製本 × 新潮講座 製本ワークショップ 憧れの「小口染め」体験講座

講師 飯塚隆 加藤製本株式会社
営業部部长 / 製本一級技能士

菊川恵里佳 製本一級技能士 浅岡奈緒 加藤製本株式会社
製本一級技能士

プロの手ほどきだからできる！
「小口染めノート」を作る
ワークショップです

加藤製本の飯塚親方と菊川さん、浅岡さんに学ぶ製本ワークショップ新企画は「小口染めノート」を作ります。小口染め（小口塗装）とは書物の断裁面の小口側、上部の天側、下部の地側の三方を色付けする技法です。書物の装いに彩りを添え、作家や装幀者をはじめ、本好き垂涎の美しい技術です。個人では難易度の高い小口染めを染料から専用台まで製本会社ならではの資材を駆使し楽しく体験して頂きます。



【日時】 2021年 9/25 (土) 14:00~17:00 (教室開場は30分前です)	【受講料】 3,300円 (税込) 【教材費】 ※別途材料費：税込800円 (束見本ノート代) ※講座当日に現金でお支払い頂きます。
---	--

加藤製本 × 新潮講座の公式インスタグラムアカウント (shincho_bookbinding_workshop) では、製本ワークショップの成果物や新潮社の書物、製本工場見学などの美しい写真をご覧頂けます。

お申し込みは

- ・お電話 **03-3266-5776** (受付時間：当面の間 平日10:30~16:30)
- ・新潮講座ホームページ (<https://kohza.shinchosha.co.jp/>)
(コンビニ払い、クレジットカード払いをお選びいただけます)

にて承ります。

2107046

ヨム、カク、ミル、シル

新潮講座

〒162-8711 東京都新宿区矢来町71
株式会社 新潮社 図書編集室
TEL 03-3266-5776 (代表)
<https://kohza.shinchosha.co.jp/>

美しい小口染めノートが作れます！



色は3色 (水色、黄色、べにいろ) から選べます。黄色は「ハヤカワ・ポケット・ミステリ」シリーズ (写真右) でおなじみ。色をコーディネートできるスピン (しおりひも) と見返し用紙つきの本格派。造本は三方断ちの仮フランス装 (四六判 (天地191mm × 小口130mm))。本文は無地、総頁は144頁 (背幅約10mm)。仮フランス装の表紙折しも同時に体験して頂けます。小口染めのカラーを引き立たせるよう表紙と背はシンプルな無地。



新潮社の美しい「小口染めの本」を紹介します。



黒い小口塗装の平野啓一郎著『決壊』は菊地信義氏による装幀 (写真中央)。今回ワークショップでも採用する水色の小口塗装は村上春樹著『境界・近境』にも (『決壊』の左側)。

【ご参加の際の注意事項】

- ・染料を扱うため袖付きエプロンを配付しますが、汚れては困る服や靴でのご参加は避けて下さい。
- ・袖を引っかけたり、足さばきが悪い裾など危険性のある服装は避け、当日は動き易い服装でご参加下さい。

☆日程が変更される場合がございます。ご了承下さい。

☆講師の病気、受講者の人数が一定数に達しないなど、諸条件によって中止になる場合があります。

☆個人情報は、受講連絡、講座企画の資料、弊社からの各種ご案内にのみ使わせていただきます。

☆支払いいただいた受講料は、欠席の場合でも原則としてお返しいたしません。

【講師紹介】



飯塚 隆

(いづか たかし)

製本歴40年のベテラン職人。断裁、折り、束見本担当を経験したのち、現在は営業として新潮社を担当している。ロックバンド「クリープハイブ」の尾崎世界観氏が加藤製本で働いていた縁で、初小説『祐介』(文藝春秋)の特装本を手掛ける。

菊川 恵里佳
(きくかわ えりか)

製本歴10年以上。飯塚の一番弟子。厚み約10cmの本に手描きで小口装飾を施した規格外の本なども手掛ける。



浅岡 奈緒
(あさおか なお)

入社9年目。新潮文庫100周年記念復刻文庫『100年前の新潮文庫一創刊版 完全復刻』の手作業による製本にも携わる。



教室のご案内



<交通のご案内>
東京メトロ東西線「神楽坂」駅 2番出口より徒歩30秒
<神楽坂教室住所>
東京都新宿区矢来町109 神楽坂ローズビル 3F